

千葉大生とマレーシアの留学生が、
グローバルな視点で高齢化・介護について調査・アイデア提案！
～独自の国際協働学習授業を3月14日から28日の間に実施～

スーパーグローバル大学牽引型に採択された千葉大学（学長：徳久剛史）は、独自に開発してきた**国際協働学習授業**を2016年3月14日から28日まで実施します。このプログラムは千葉大学の協定校であるマルチメディア大学（マレーシア）の学生15名を短期集中留学プログラムで受け入れ、千葉大生15名と協働で高齢化・介護について調査し、**グローバルな視点からアイデアの提案**を行います。

「千葉大独自」の国際協働学習授業

千葉大学・国際教育センターは、短期集中留学プログラム（約2週間）により、海外の協定校から留学生を受け入れ、国際協働学習授業「グローバル・スタディ・プログラム」を実施しています（受入れと派遣は隔年で交替）。このプログラムの特色は、**異なる専門知識や言語的・文化的背景を持つ千葉大生と留学生が、少人数のグループで特定の課題**に関して現地調査を行い、問題に向き合うことにより、グローバルな視点からアイデアを提案していく点にあります。

今回のテーマは「高齢化・介護」～調査活動等を通じて新しいアイデアを提案～

現在日本では急速に高齢化が進んでおり、特に千葉県は高度成長期に建設された団地の数が多く、そのほとんどが老朽化し、団地の住民も高齢化しています。また、高齢者や障害者の介護についても、担い手が不足している等、社会的な課題となっています。今回の国際協働学習では、両校の学生が3月14日～28日の期間に実施するフィールドワーク等を通じて**千葉県が抱える住居と介護の現状**を学び、そこに内在する問題を解決すべく、グローバルな視点から新しいアイデアを提案します。

フィールドワーク①:

日時：3/17（木）10時～12時
場所：千葉大学・園芸学部（松戸キャンパス）
内容：身体が動けなくてもギターが弾ける機器を協働制作したALS（筋萎縮側索硬化症）患者でもある船後靖彦氏の講演に参加

フィールドワーク②:

日時：3/17（木）、22（火）14時～16時
場所：介護施設だんらんの家・東千葉事業所
内容：入居者との交流を通して介護のニーズを発見

フィールドワーク③:

日時：3/19（土）、23（水）14時～16時
場所：千葉県美浜区高洲第一団地
内容：UR関係者と団地住民からの聞き取り調査

ワークショップ:

日時：3/19（土）、20（日）、22（火）、23（水）、24（木）
いずれも9時～12時
場所：千葉大学・国際教育センター（西千葉キャンパス）

最終発表:

日時：3/26（土）12時～15時
場所：千葉大学・国際教育センター（西千葉キャンパス）
内容：各グループのアイデアを発表



▲昨年のマレーシアで実施された国際協働学習の様子